

## ビジネス概要

データ管理および分析  
金融サービス



# 金融規制当局からの要請に 対応する方法

コンプライアンス・レポート作成のための戦略的アプローチとしてのテクノロジー

「金融危機が始まって以来、より詳細なデータに対する管理者からの要求は高まり続けています。短期的なコスト削減と時間短縮の圧力によって、企業は具体的なソリューションの採用を強いられることがあります。中長期的な視点に立つならば、基本となる戦略的アプローチを採用する方が効果が高くなる可能性があります」<sup>1</sup>

### 業界の戦略的取り組み

金融サービス業界は、世界各地の金融規制機関から、金融システムの整合性をグローバルに確保するよう常に求められています。金融サービス企業には、官民両方の規制機関や政策によって定められた要件、制限、ガイドラインが適用されます。具体的には、FINREP や COREP などの欧州報告要件およびパーゼル合意の履行を監督する英国の Prudential Regulation Authority (PRA) および Financial Conduct Authority (FCA) や、米国のサーベンス・オクスリー法などがあります。

こうした要件の一部として、金融機関には、さまざまな規制当局への毎日、毎月、毎四半期、または毎年の定期的報告が義務付けられています。これらのコンプライアンス・レポートには、規制当局が、銀行などの金融機関の事業が安全かつ健全な経営状態であることを評価するため、または政府の法令や他の法律、規則、規制への準拠を確認するために必要な未加工データや概要データが含まれます。

コンプライアンス・レポートの作成が複雑化する要因として、報告のために入力が必要なデータが膨大で多様であること、データへのアクセス権と責任を有する人の数が多いこと、ストレステストとシナリオテストのためにアドホックなレポート作成を求められることが挙げられます。

### データおよび コンプライアンス・レポート

現在、規制当局向けのレポートを作成するには、幅広いデータソースを取り込んで既存データと関連付け、さらに深いレベルの洞察を提供することが必要となっています。一般的なデータソースとデータの種類としては、以下のものがあります(ただし、これらに限定されません)。

- 取引システムから得られる取引データ
- 参照データ
- ニュースフィード
- ソーシャルメディア
- 法律関係書類(通常はXML形式)
- Financial Industry Business Ontology (FIBO) や Financial Instrument Global Identifier (FIGI) などの業界オントロジー
- 規制当局向けXBRLファイリング
- スプレッドシート

レポートを作成するには、こうしたデータをすべて確認、分析して、包括的に関連付ける必要があります。しかし、データの種類やデータソースが多様である一方、迅速なデータ操作が求められるため、従来のリレーショナルデータベースではこうした業務に対応できません。現在では、MarkLogic\* Enterprise NoSQL データベースなどのテクノロジーを利用できるようになり、より効率的で効果的なデータ管理プラットフォームが実現されています。

## データと役割、その責任

データとソースの多様さに加え、そのデータに関連付けられた、銀行の組織構成における役割が膨大な数に上っています。そうした役割ごとの責任の割り当てや担当者がデータにアクセスする方法はさまざまですが、データとプロセスが規制に準拠し、コンプライアンス・レポートが効率的かつ正確に作成されるようにするためには、組織全体として業務に取り組むことが不可欠です。以下に、具体的な役割の例を示します。

- 特別監査責任者
- 監視係官(銀行内)
- 研究調査員
- 決済/精算担当者
- 参照データのオペレーター
- 内部および外部の監査人

## ストレステスト

規制当局が銀行に要求するのは定期レポートだけではなく、それだけでは不十分であるかのように、ストレスおよびシナリオテストとしてアドホックのレポート作成が求められることがあります。

規制当局によるストレステストは、銀行の資本レベルを判別する最も強力なツールの1つとして急速に実施されるようになってきました。ストレステストでは、好ましくない経済シナリオによる影響を分析し、不利な展開がもたらす影響に耐えられるだけの十分な資本が銀行にあるかどうかを判別します。欧州では、欧州銀行監督局(EBA)がEU全体でストレステストを実施しており、EUで業務を行う銀行はこのテストの対象となります。また、2015年、イングランド銀行は英国の銀行システムのストレステストを実施するための新しい枠組みを導入しています。

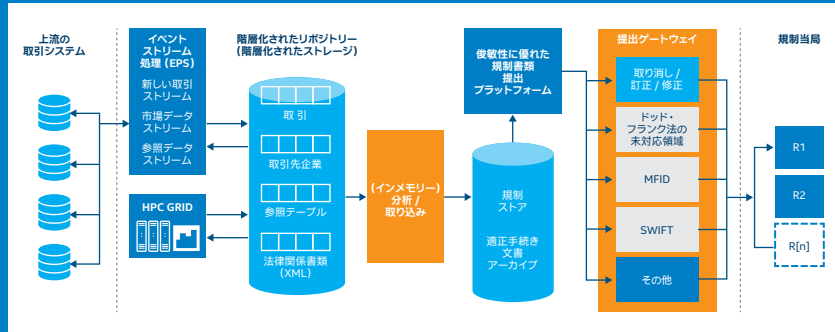
### ストレステストの例：

2012年に米国で行われたストレステストでは、以下のような悪条件に基づくシナリオが使用されました。<sup>2</sup>

- 失業率 13%
- 株価が 50% の下落
- 住宅価格が 21% の下落

## ソリューションの価値提案

俊敏性に優れた規制書類提出プラットフォームによって、規制ストアから容易にレポートを生成できると同時に、提出ゲートウェイではこれらのレポートをXBRLなどの形式で関係規制当局に送信できるように支援します。



## ビジネス価値の可能性

「銀行は、通常時だけでなくストレス状況や危機的状況にあってもリスクデータ集約機能とリスク報告活動に完全対応できる、データアーキテクチャーおよびITインフラストラクチャーを設計、構築、維持すると同時に、他の原則を引き続き満たす必要がある」<sup>3</sup>

こうした規制上の課題はすべて、金融機関にとって非常に大きな負担となり、多量の内部リソースを消費します。そのため、金融機関は規制当局に効率的でタイムリーかつ素早く対応できる確実なアプリケーション・フレームワークを構築することが極めて重要になります。処理および分析の対象となるデータの量と多様さ、分析プロセスの複雑さ、報告期日の緊迫性はすべて、この難題の要因となっています。

データの品質とモデル化が、財務データとリスクデータを突き合わせるための最優先事項です。一元化されたデータ・ウェアハウスも取引レポートも存在しない場合、データ出力を関連付けて集約するには、膨大な量の手作業による事前の突き合わせが必要になります。銀行が現在の要件を満たし、新しい規制が導入された場合に対応できるようにするためには、包括的な枠組みが不可欠です。

## ビジネス要因と期待される成果

- 企業が規制当局に効率的でタイムリーかつ素早く対応できる、堅牢なアプリケーション・フレームワークの導入
- 行われた取引や市場データシステムの取引データ、参照データ、取引先企業データなど、各種ソースの膨大なデータを処理するコンピューティング機能
- 大規模かつ複雑なデータ分析要件を迅速に処理する分析機能
- 予定されている定期レポートへの入力、処理、出力だけでなく、突発的なストレステストやシナリオテストのアドホックレポート要請にも対応できる柔軟性
- 新しいデータソースを取り込んで既存データと関連付けることによって、規制当局に対してさらに深いレベルの洞察を提供する能力

## デジタルへの移行とビジネスの変革

完全なコンプライアンス・レポート作成ソリューションによって、金融サービス提供企業は、規制命令に応じた複数ソースからのデータ取得、そのデータの集約/分析、必要なレポートの編集/出力、後ほど必要となるアクセスに備えた大量データ保存を実現できます。また緊急のアドホック要件にも、いっそう素早く対応できるようになります。

### ソリューションのまとめ

- MarkLogic Enterprise NoSQL データベース・プラットフォーム
- インテル® Xeon® プロセッサ搭載のハイパフォーマンス・コンピューティングおよびストレージ
- Hadoop\* ソフトウェア・フレームワークの取引リポジトリ階層化ストレージ
- SAS\*、Revolution Analytics\* などによる分析
- MarkLogic の俊敏性に優れた規制書類提出プラットフォーム

### 戦略的

#### ソリューション・パートナー

- MarkLogic
- SAS または Revolution Analytics
- インテル

### インテルのテクノロジー基盤

- インテル® Xeon® プロセッサ

### トランスフォーメーションを実現

インテルは、ソフトウェア・ソリューション・プロバイダーのエコシステムと連携して、金融サービス業界に特化したソリューションを開発しています。これらのソリューションは、コンピューティング、ネットワーク、ストレージ、ソフトウェアなど、相互運用可能な統合テクノロジー・コンポーネントに基づいています。また、インテルは、インテル® テクノロジーによってハイパフォーマンスのソリューションが実現するように、ソフトウェア・プロバイダーによるアプリケーションの最適化を支援します。

### 詳細情報

自分たちの組織に合った適切なソリューションを見つけるには、インテルの担当者にお問い合わせいただくか、IT Center に登録してください。詳細については、<http://www.intel.co.jp/FSI/> または <http://jp.marklogic.com/> を参照してください。



<sup>1</sup> Deloitteの「Outlook for financial markets regulation:Top 10 for 2015」—<http://www2.deloitte.com/uk/en/pages/financial-services/articles/regulatory-top-ten-for-2015.html>(英語)

<sup>2</sup> 米連邦準備銀行によって2011年11月に作成された、CCAR 2012 (Comprehensive Capital Analysis and Review) の監視用ストレスシナリオ。

<sup>3</sup> BIS BCBS 239 Adoption Progress Report, 2015年1月—<http://www.bis.org/bcbs/publ/d308.pdf>(英語)

インテル® テクノロジーの機能と利点はシステム構成によって異なり、対応するハードウェアやソフトウェア、またはサービスの有効化が必要となる場合があります。実際の性能はシステム構成によって異なります。絶対的なセキュリティを提供できるコンピューター・システムはありません。詳細については、各システムメーカーまたは販売店にお問い合わせいただくか、<http://www.intel.co.jp/>を参照してください。

Intel、インテル、Intelロゴ、Xeonは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標です。

\* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

インテル株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1

<http://www.intel.co.jp/>

©2017 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。

2017年12月

333842-001JA  
JPN/1712/PDF/SE/MKTG/YA